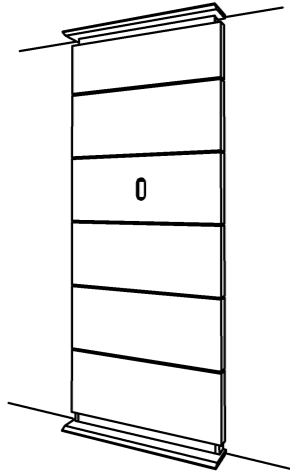
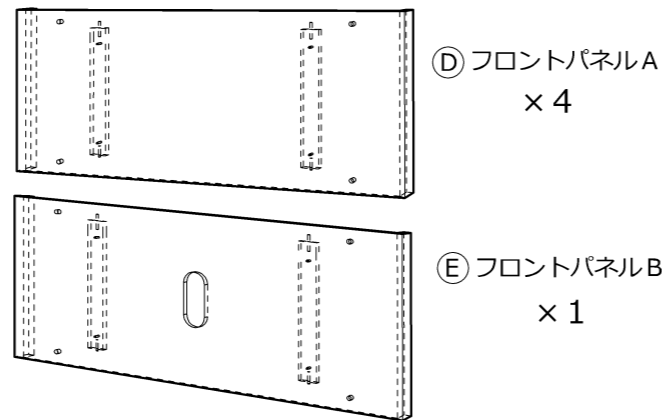
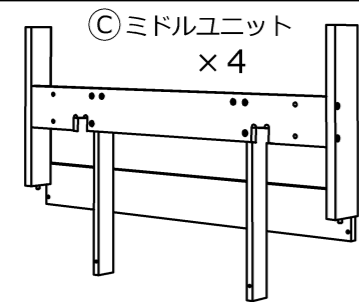
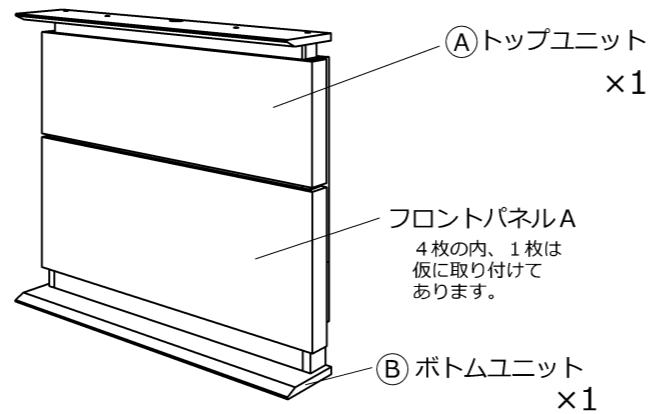


完成図



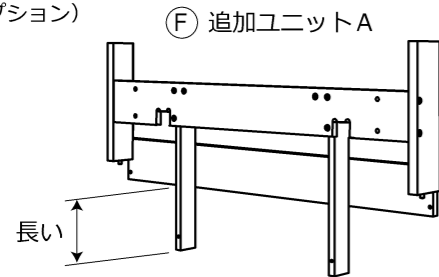
部品の確認

◎組み立て前に、全ての部品が揃っているかどうかお確かめください。

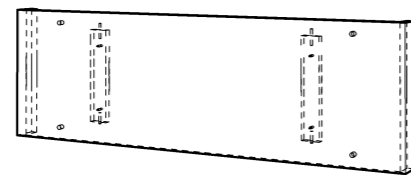


- ① ラップネジ ×21 (内、2本は組立済) (内、予備部品1本)
② 組立ネジ ×13 (内、2本は組立済) M6x25 (内、予備部品1本)

追加ユニット A WD-KBE12-NA12/DB12/WH12 天井高2547~2848mmの時に使用します。(オプション)

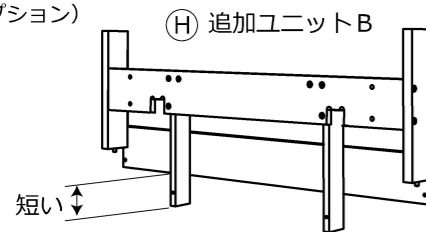


F 追加ユニット A
G フロントパネル B ×1

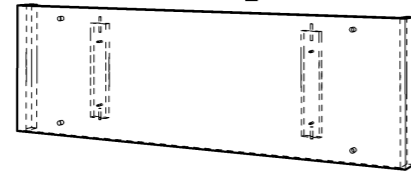


- ① ラップネジ ×4
② 組立ネジ ×4 M6x25

追加ユニット B WD-KBE13-NA12/DB12/WH12 天井高2930~3150mmの時に使用します。天井高2547~2627mmの時に使用します。(追加ユニットAと一緒に使用します。)(オプション)

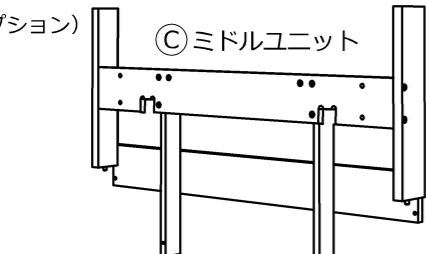


H 追加ユニット B
G フロントパネル B ×1

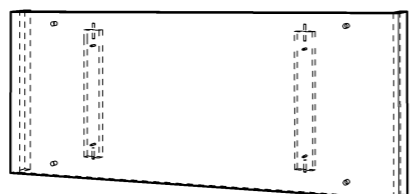


- ① ラップネジ ×4
② 組立ネジ ×4 M6x25

追加ユニット C WD-KBE14-NA12/DB12/WH12 天井高2849~2929mmの時に使用します。(オプション)



C ミドルユニット
D フロントパネル A ×1

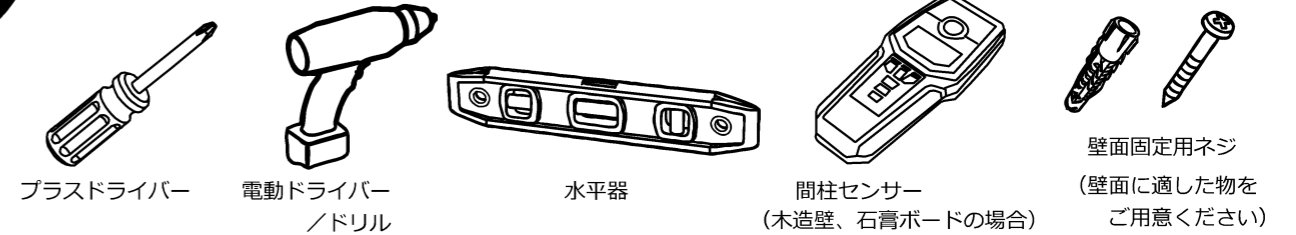


- ① ラップネジ ×4
② 組立ネジ ×4 M6x25

※追加ユニットCは、本体の「C」ミドルユニット、「D」フロントパネルAと同じ物になります。



ご用意の道具

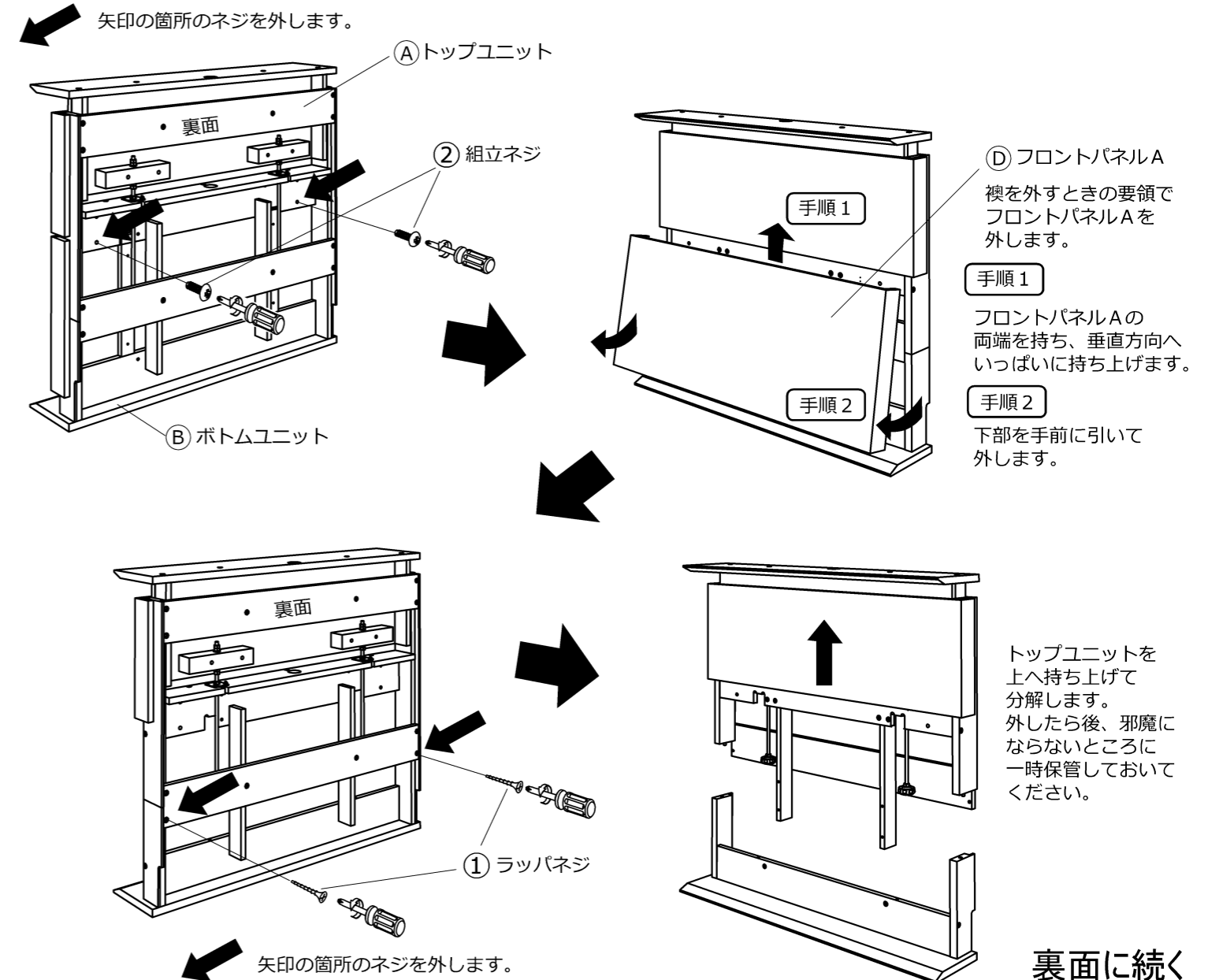


お客様へ

本製品の組み立て、取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工務店などの専門業者に依頼をして、安全性に十分考慮して、組み立て、取り付けを行ってください。壁面への工事には、特別な技術が必要ですので、設置の際には、この組立説明書をよくお読みのうえ設置を行ってください。取り付け不備や、お取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いませんので、予めご了承ください。

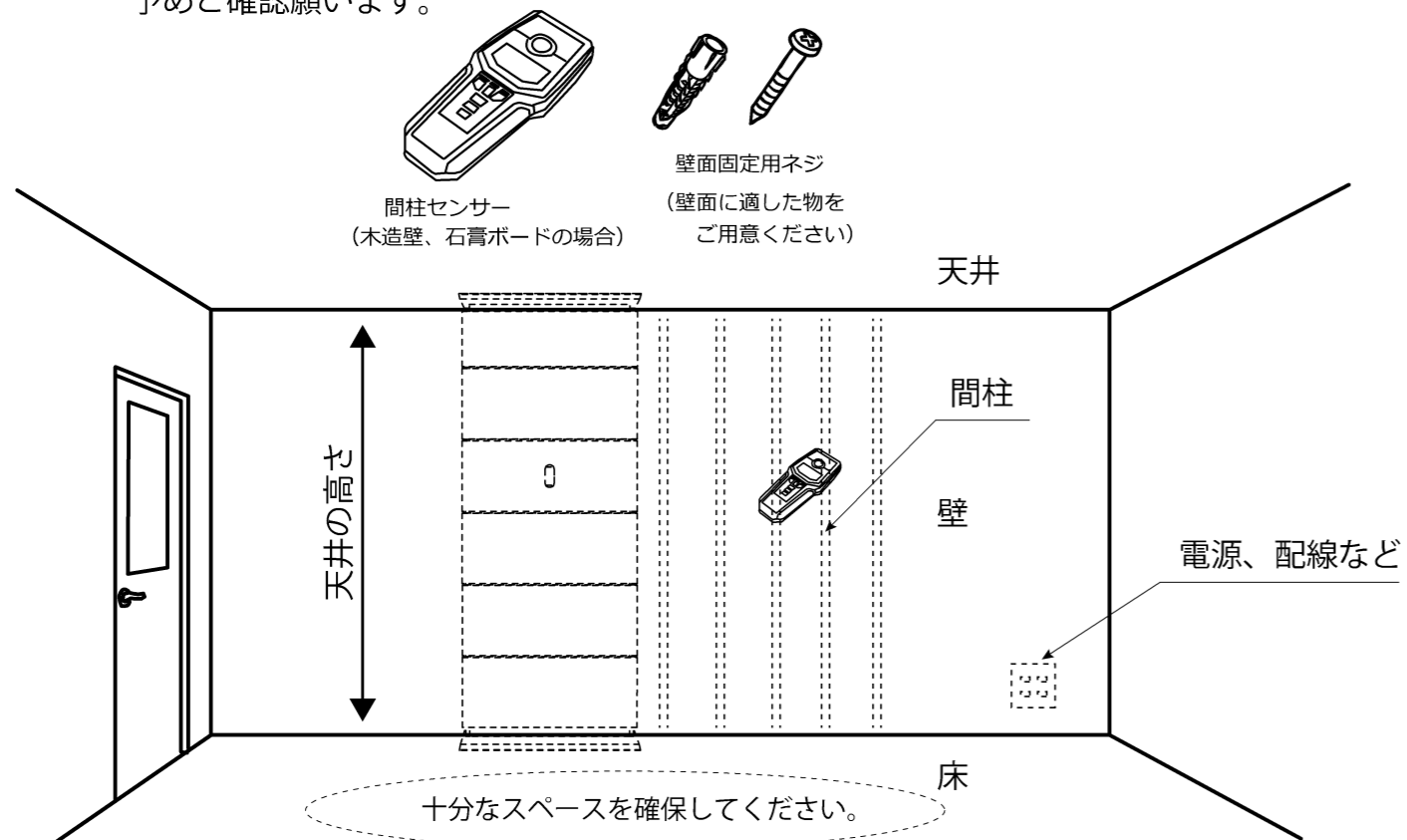
1 トップユニットとボトムユニットの分解

梱包時の部材保護の為、トップユニットとボトムユニットは仮りに組み立てられています。はじめに、それらを分解しておきます。その時に外した「組立ネジ」「ラップネジ」は、そのあとの組み立て工程で使用しますので、なくさないように保管しておいてください。



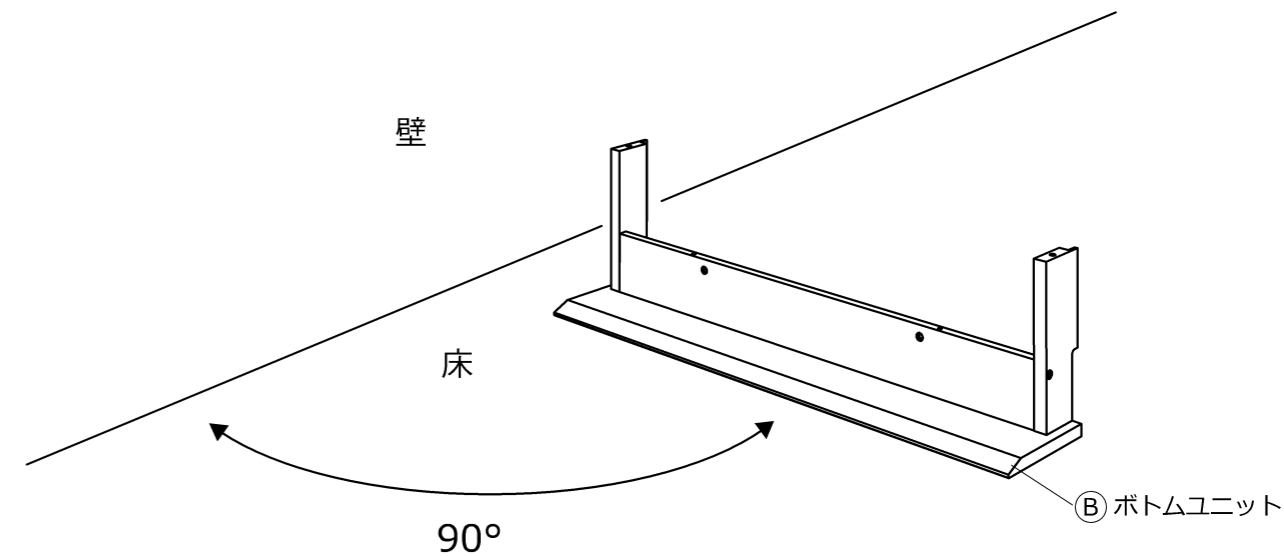
2 設置場所の確認

本製品は、壁面への固定を前提としたものになりますので、設置する壁の構造を予めご確認ください。

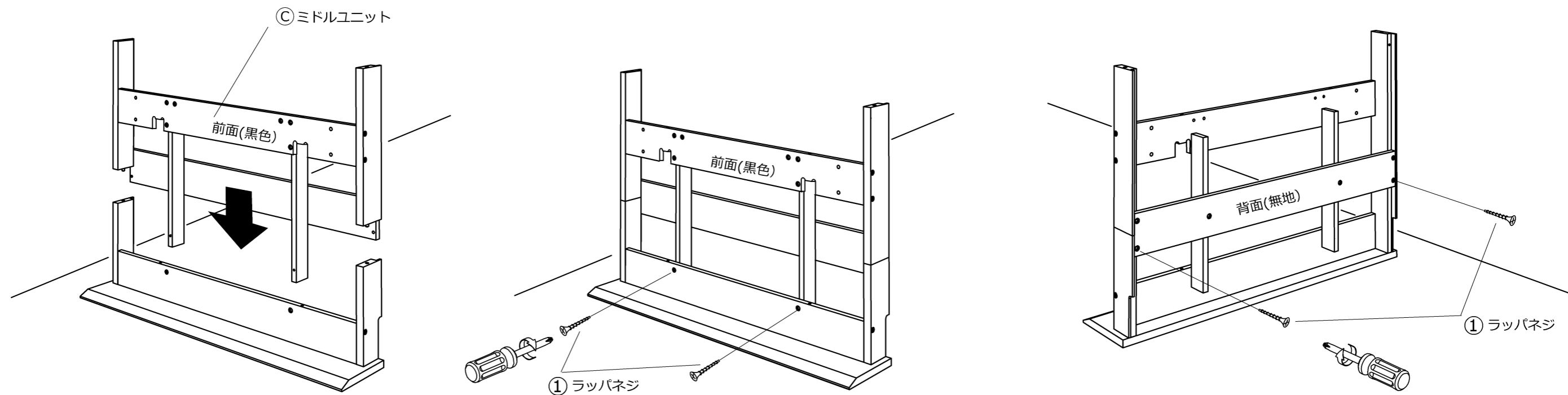


3 ボトムユニットの設置

設置する壁面に対し、約90°になるように、ボトムユニットを配置します。
本体の組み立ては、前面、背面の両方向からのネジ止めの工程がございます。
十分なスペースが確保できない場合は、壁との間にネジ止め作業が行えるようなスペースを空けて、ボトムユニットを設置します。

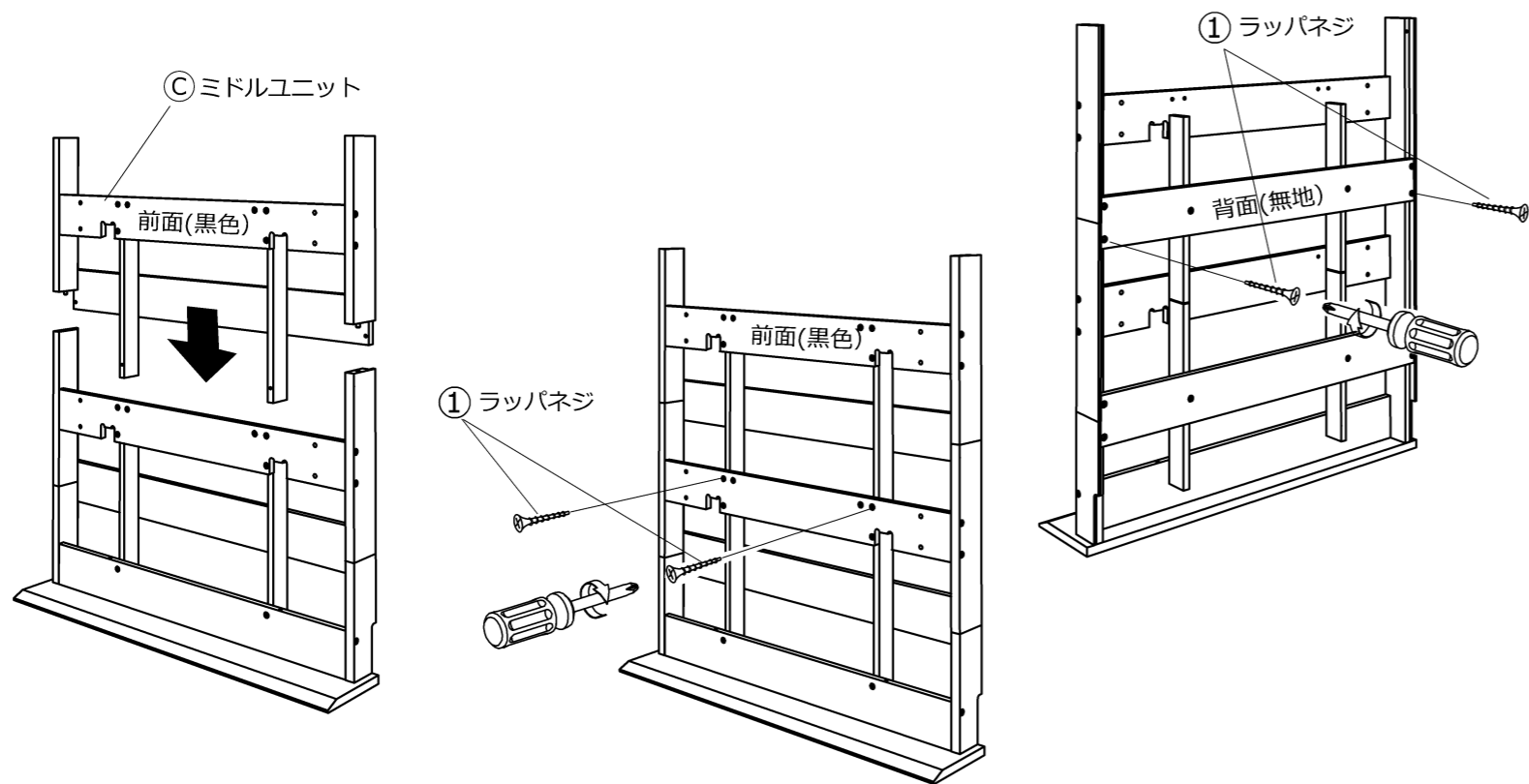


4 ミドルユニットの組み立て (その1)

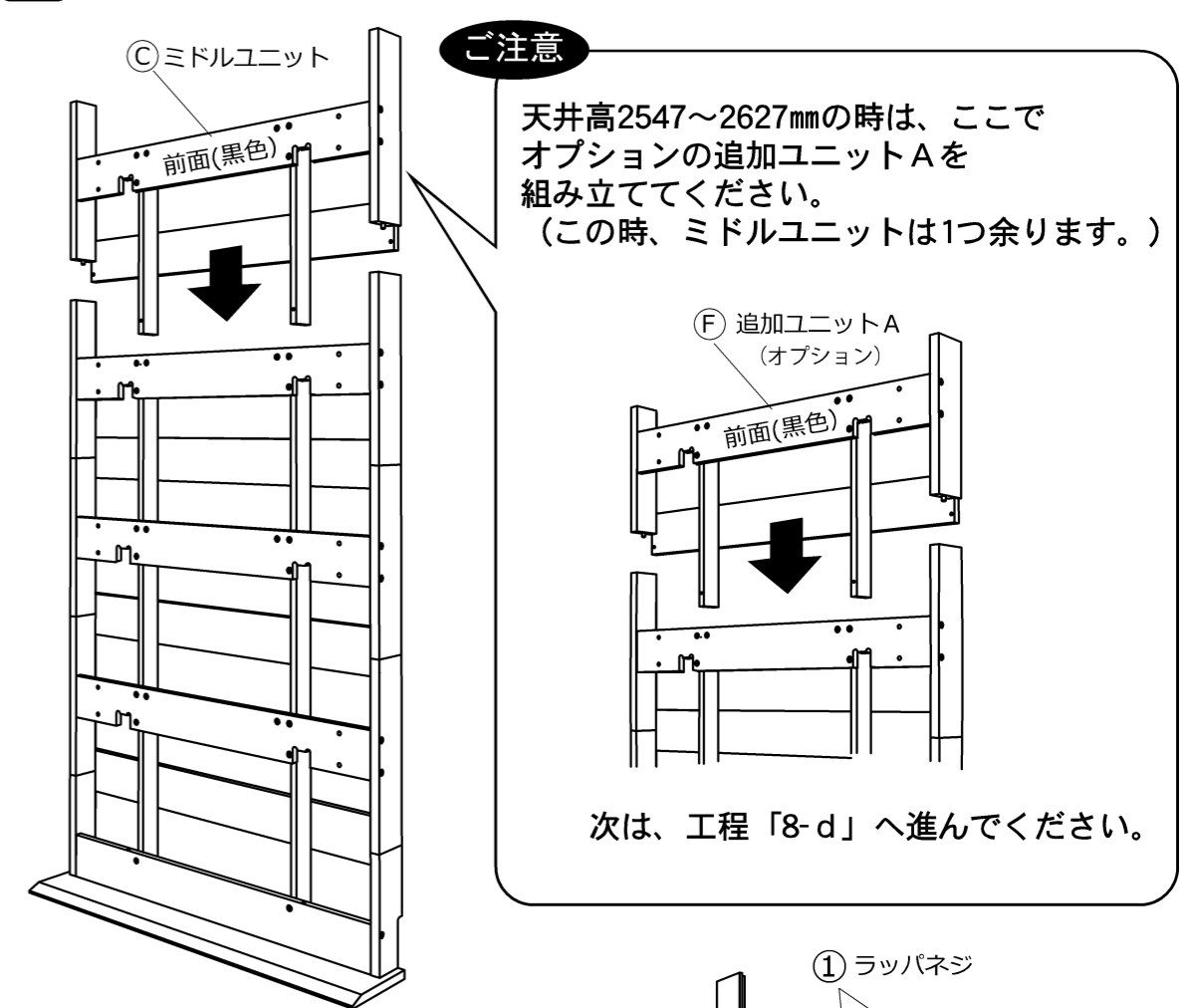


2枚目に続く

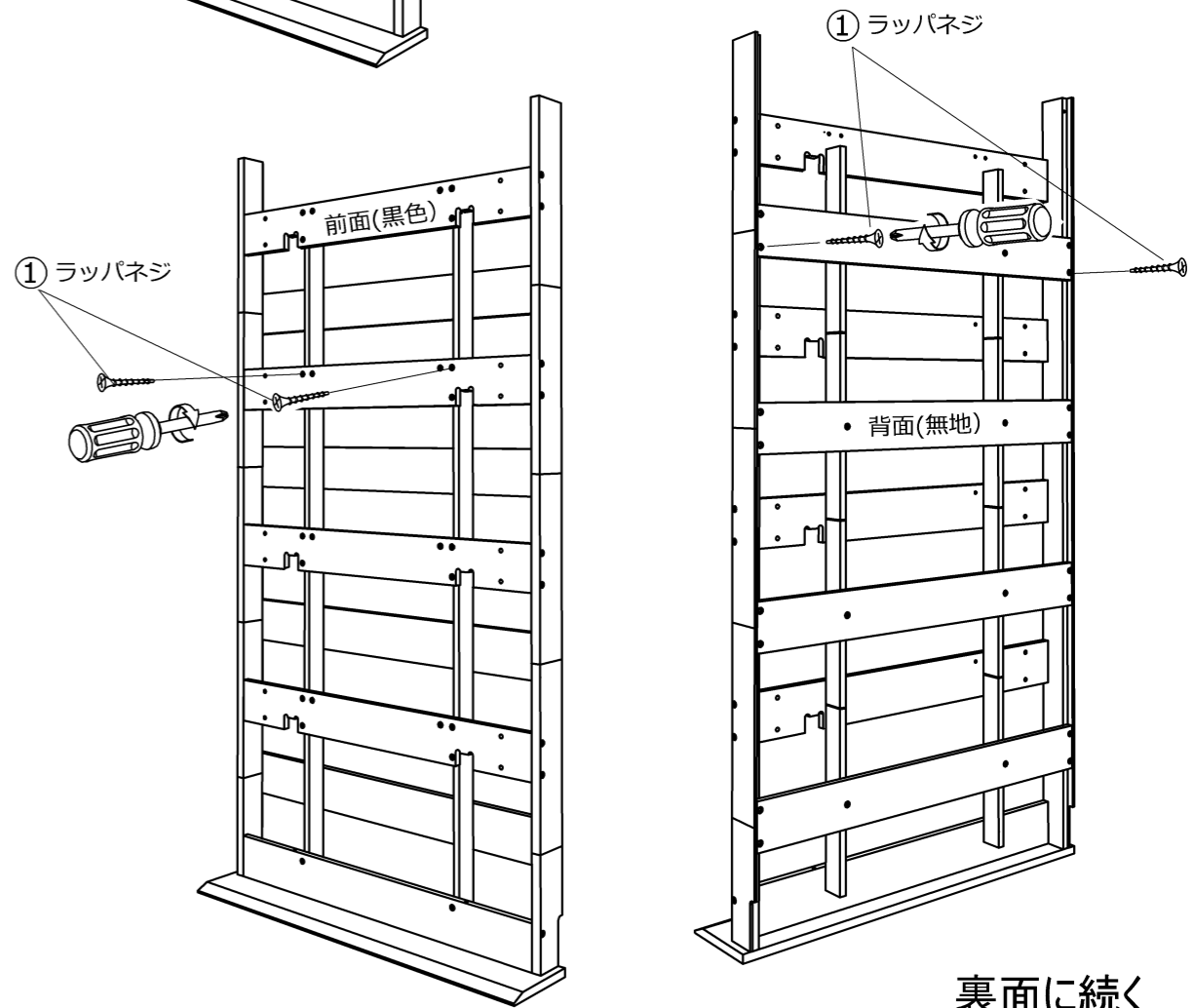
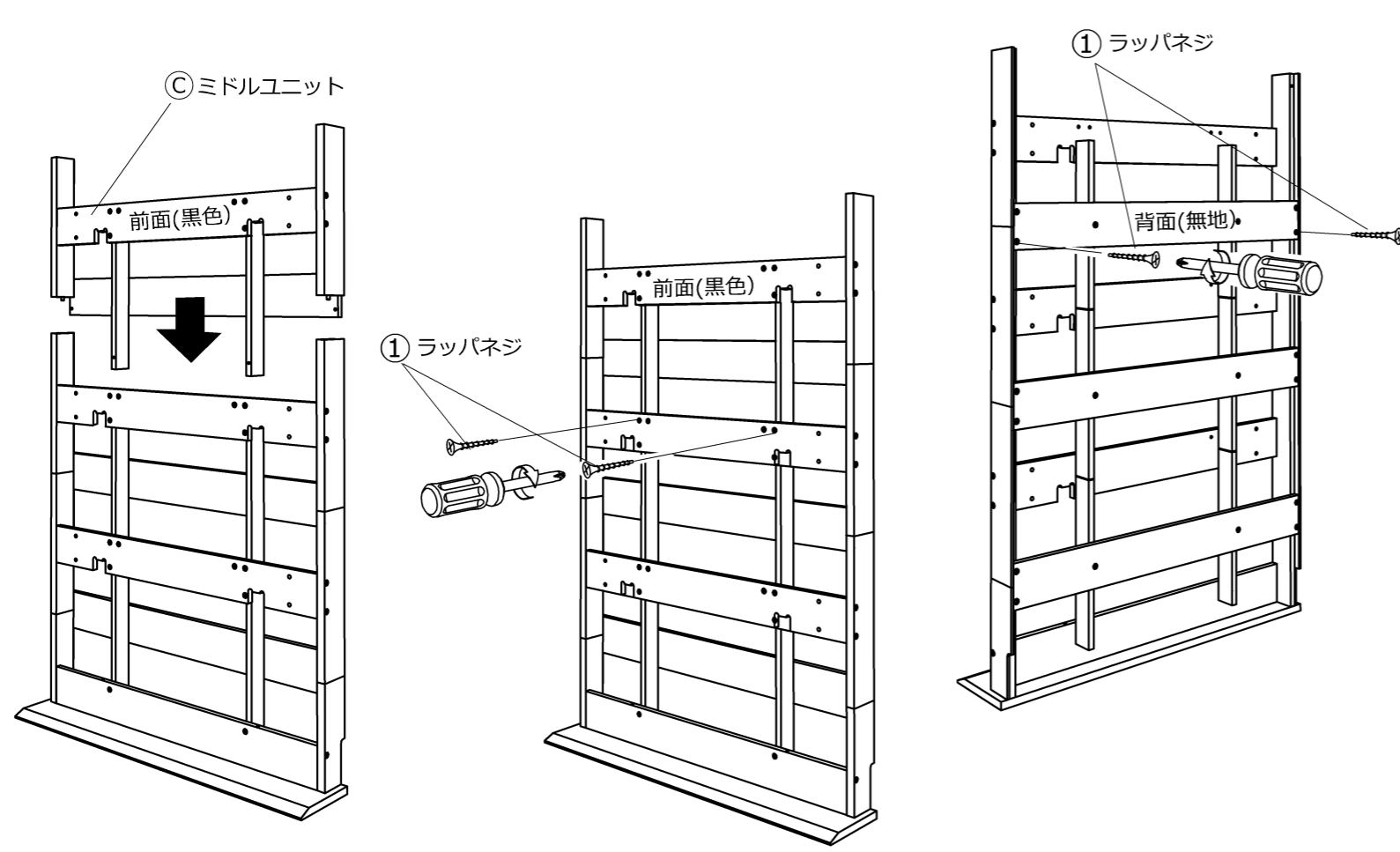
5 ミドルユニットの組み立て (その2)



7 ミドルユニットの組み立て (その4)



6 ミドルユニットの組み立て (その3)



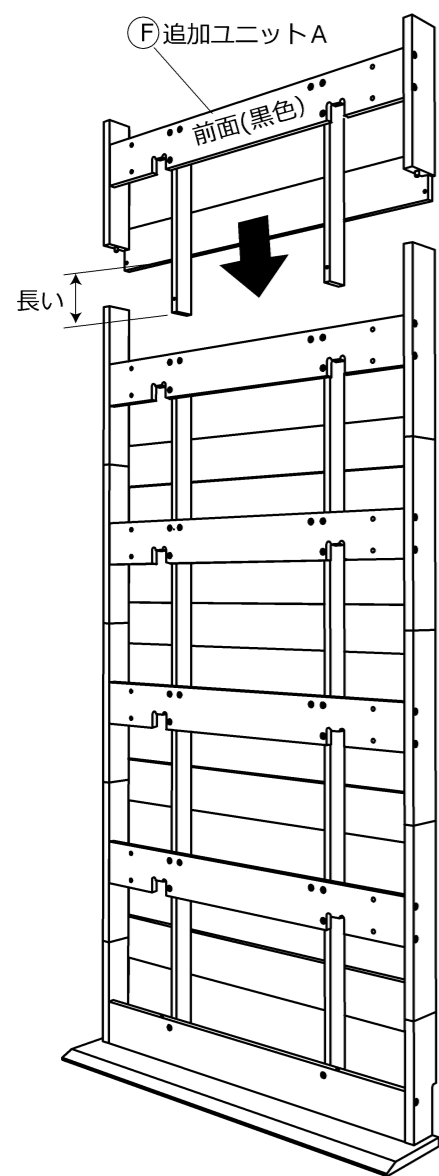
裏面に続く

8 追加ユニットの組み立て

天井高2326～2546mmの時は、そのまま工程「9」へ進んでください。

a

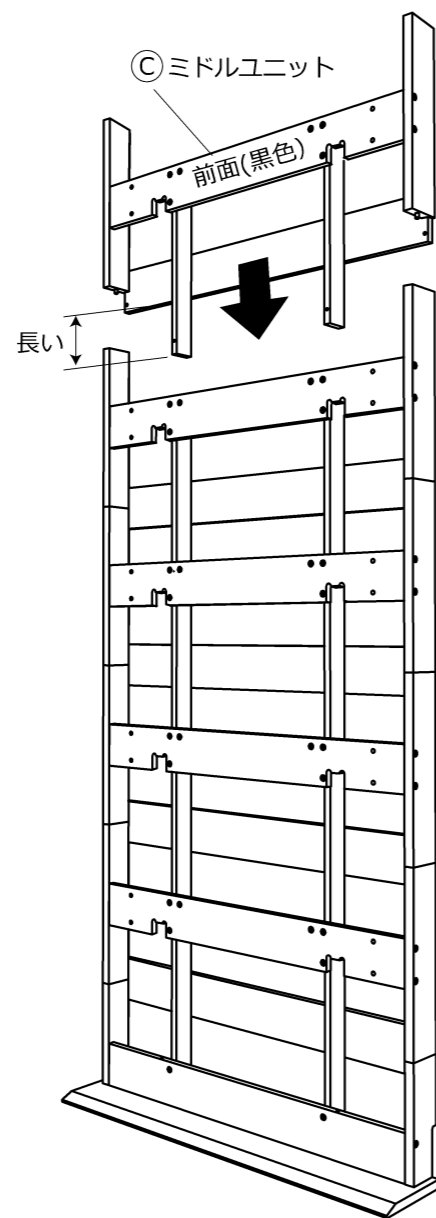
天井高2628～2848mmの時はここで、追加ユニットAを組み立てます。



b

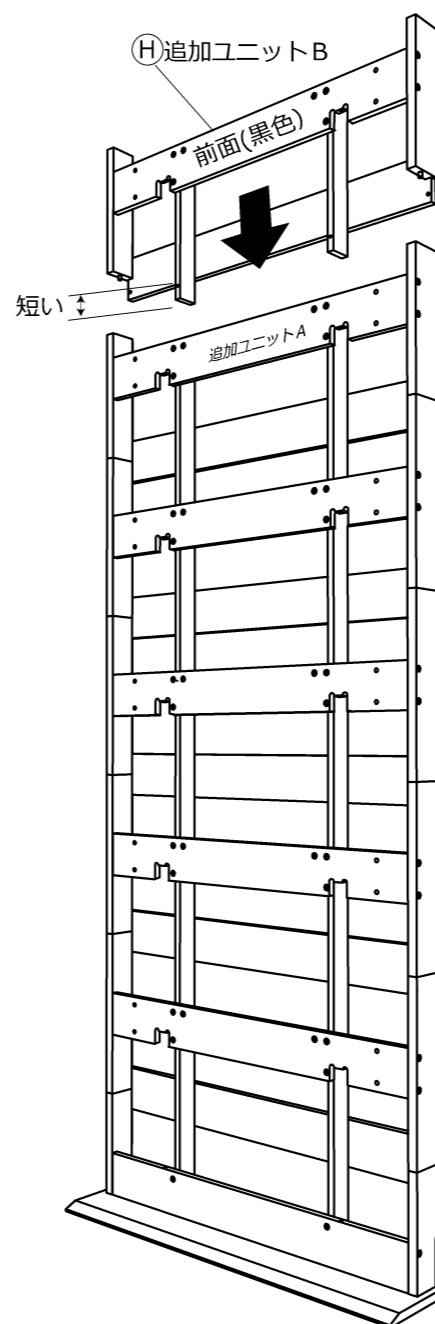
天井高2849～2929mmの時はここで、追加ユニットCを組み立てます。

※追加ユニットCは、本体の「C」ミドルユニットと同じ物になります。



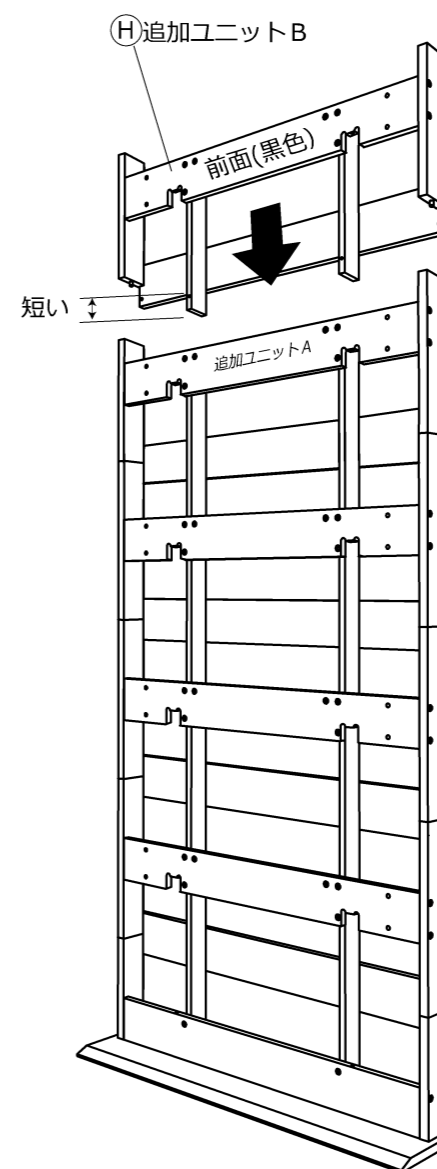
c

天井高2930～3150mmの時は「a」で追加ユニットAを組み立てた後、もう1段追加ユニットBを組み立てます。

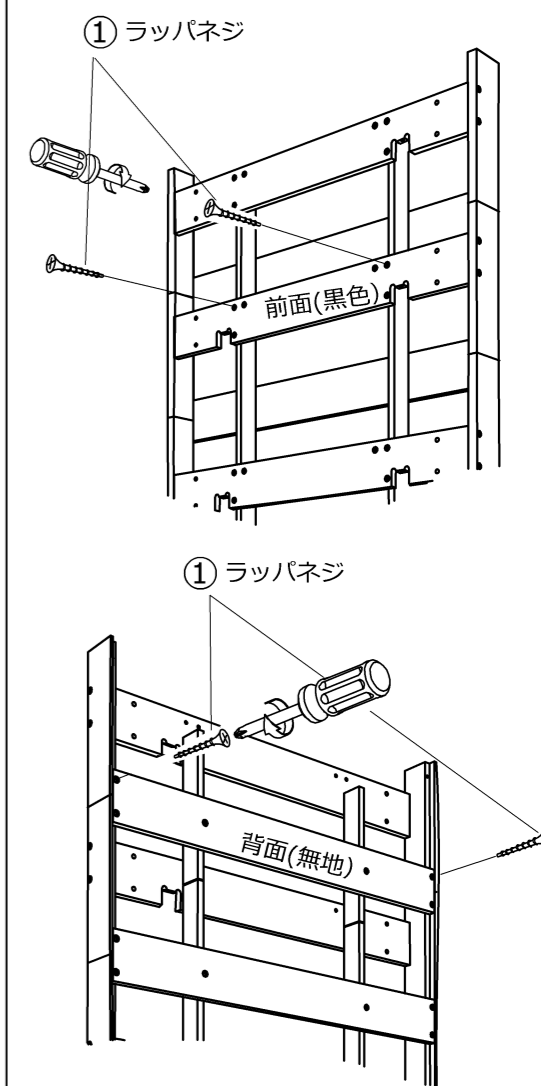


d

天井高2547～2627mmの時はここで、追加ユニットBを組み立てます。



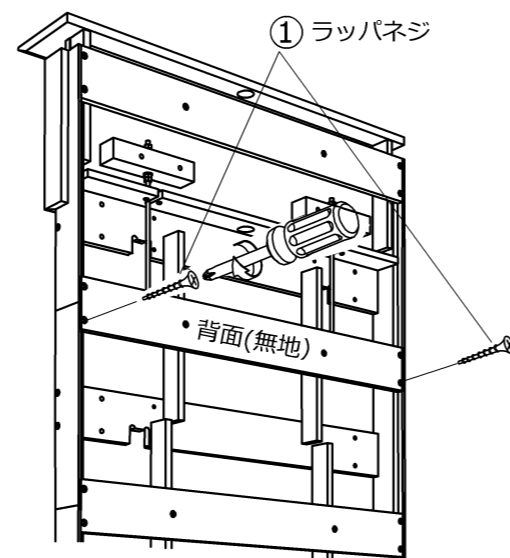
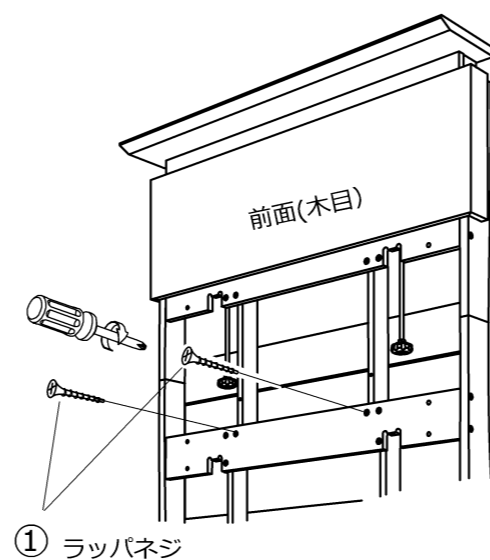
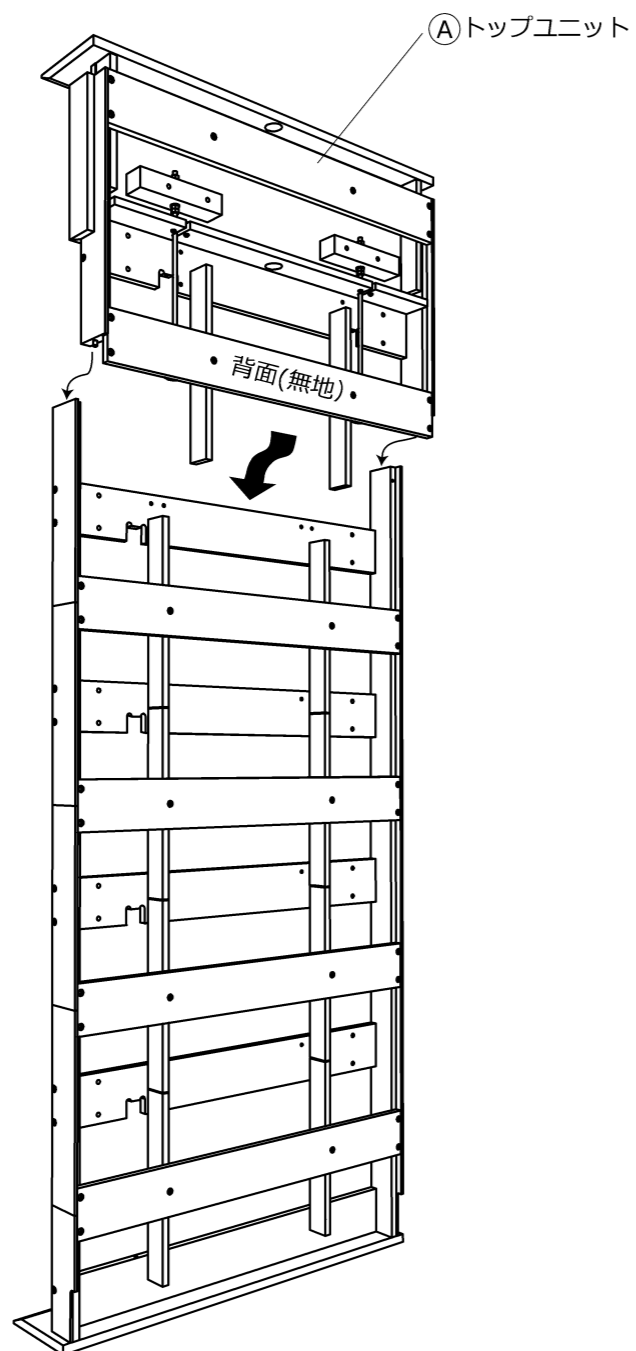
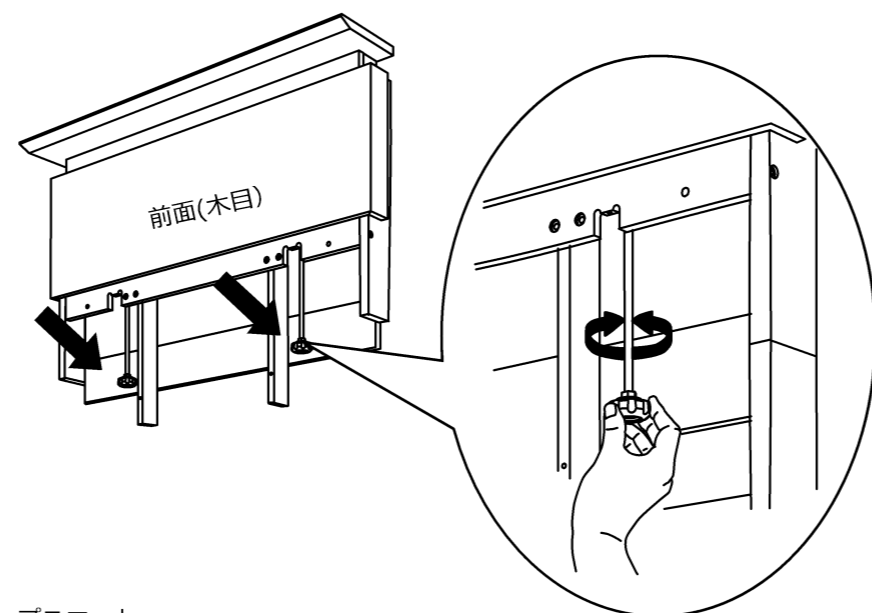
工程 a～d 共通



3枚目に続く

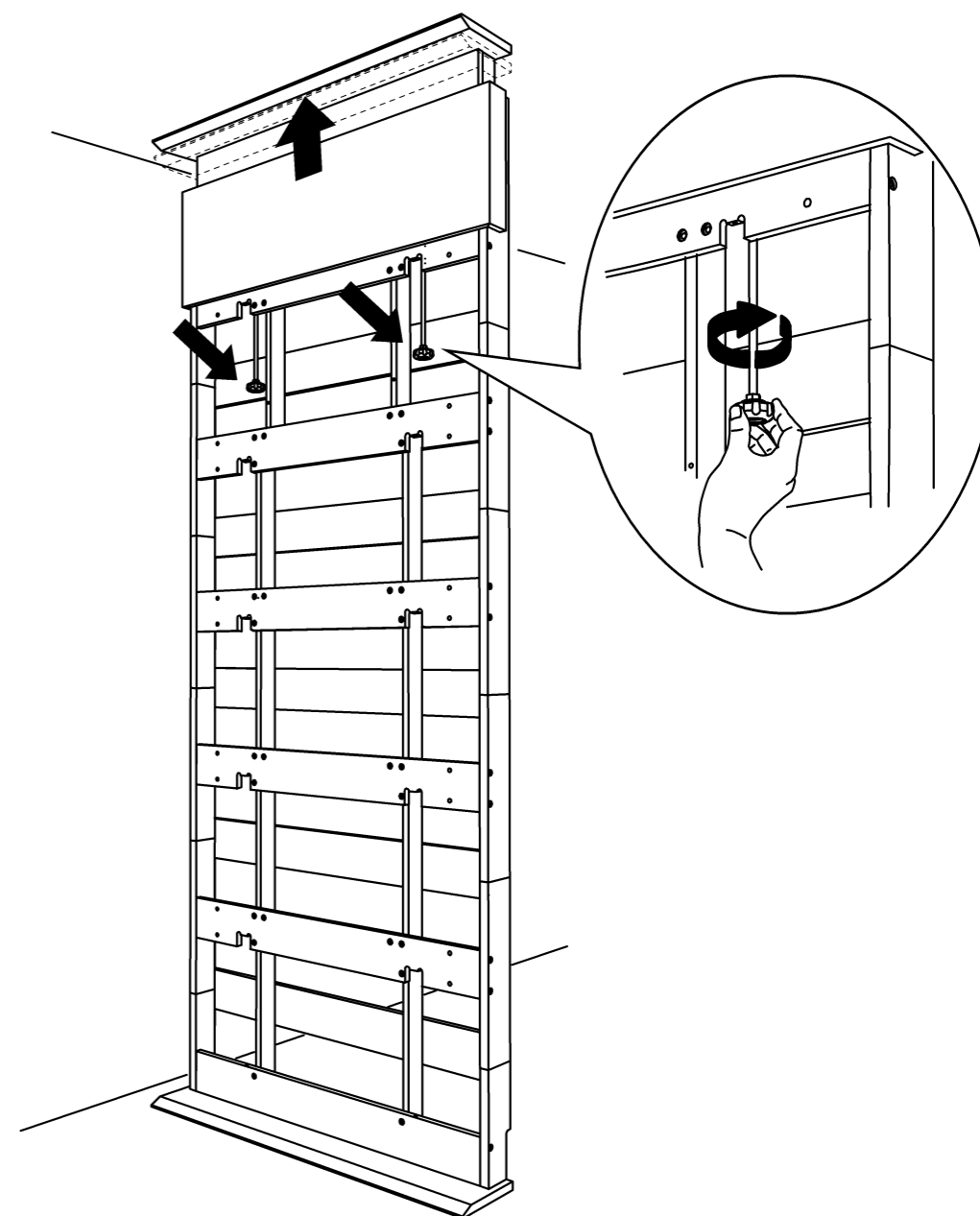
9 トップユニットの組み立て

あらかじめ、矢印のつまみを回して天井までの高さが、2～3cmくらい低めになる様に調整しておいてください。



10 高さの調節

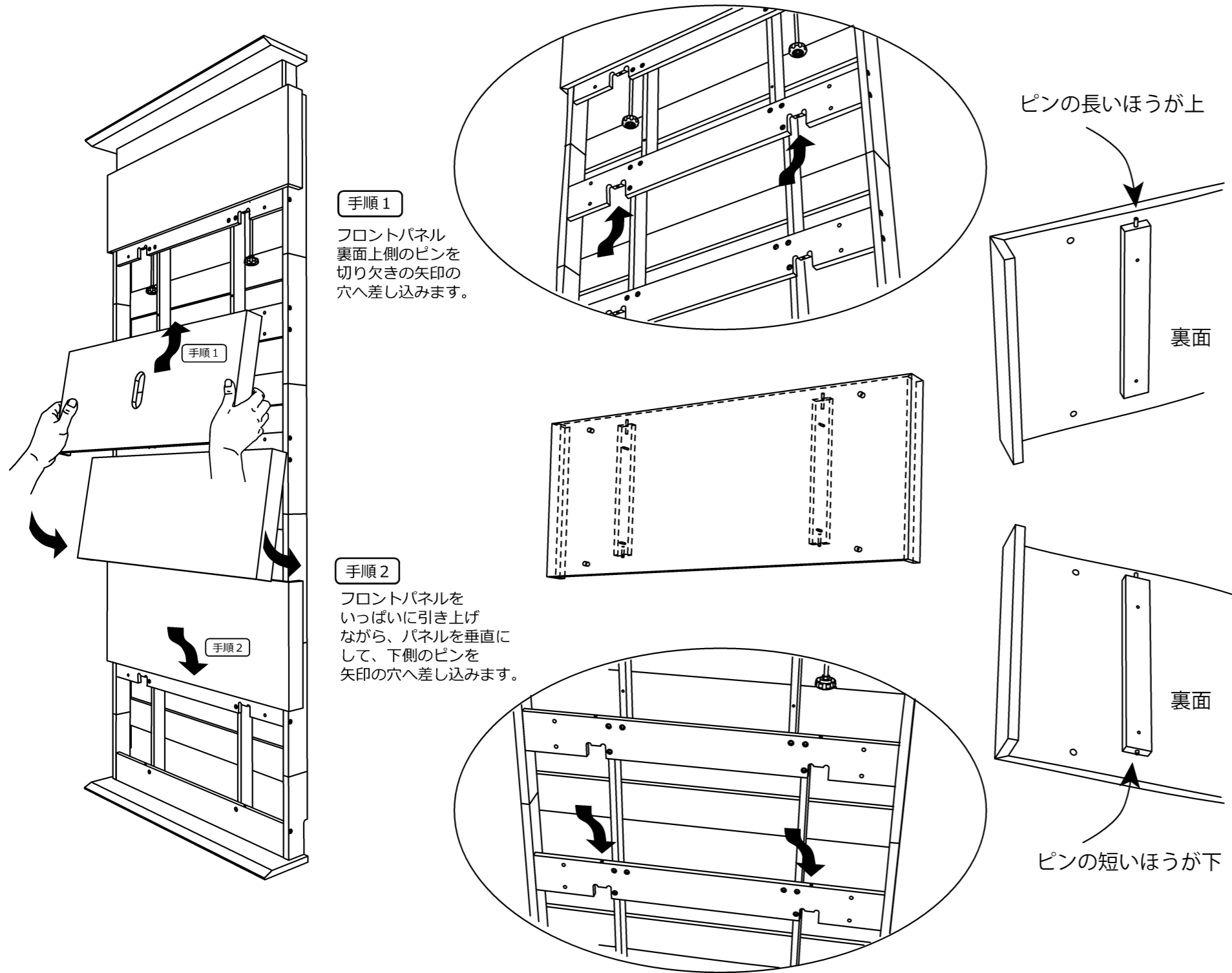
矢印のつまみを回して、天井まで伸ばして本体を仮固定します。



裏面に続く

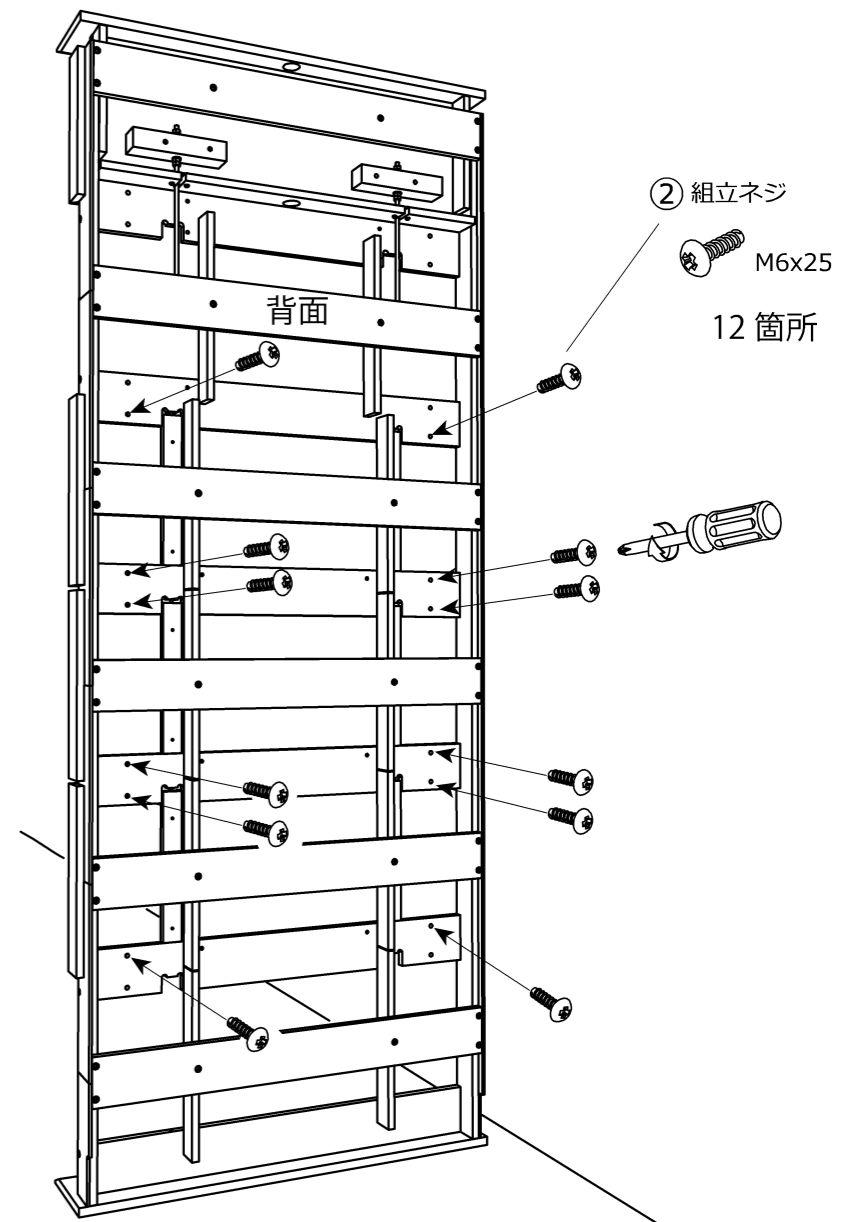
11 フロントパネルの取り付け

ディスプレイ取り付け金具（別売）を取り付ける位置のフロントパネルを取り付けます。



12 フロントパネルの固定

本体背面より、フロントパネルの中段3枚を組立ネジで固定します。



裏面に続く

13 設置する壁面へ移動します。

手順1

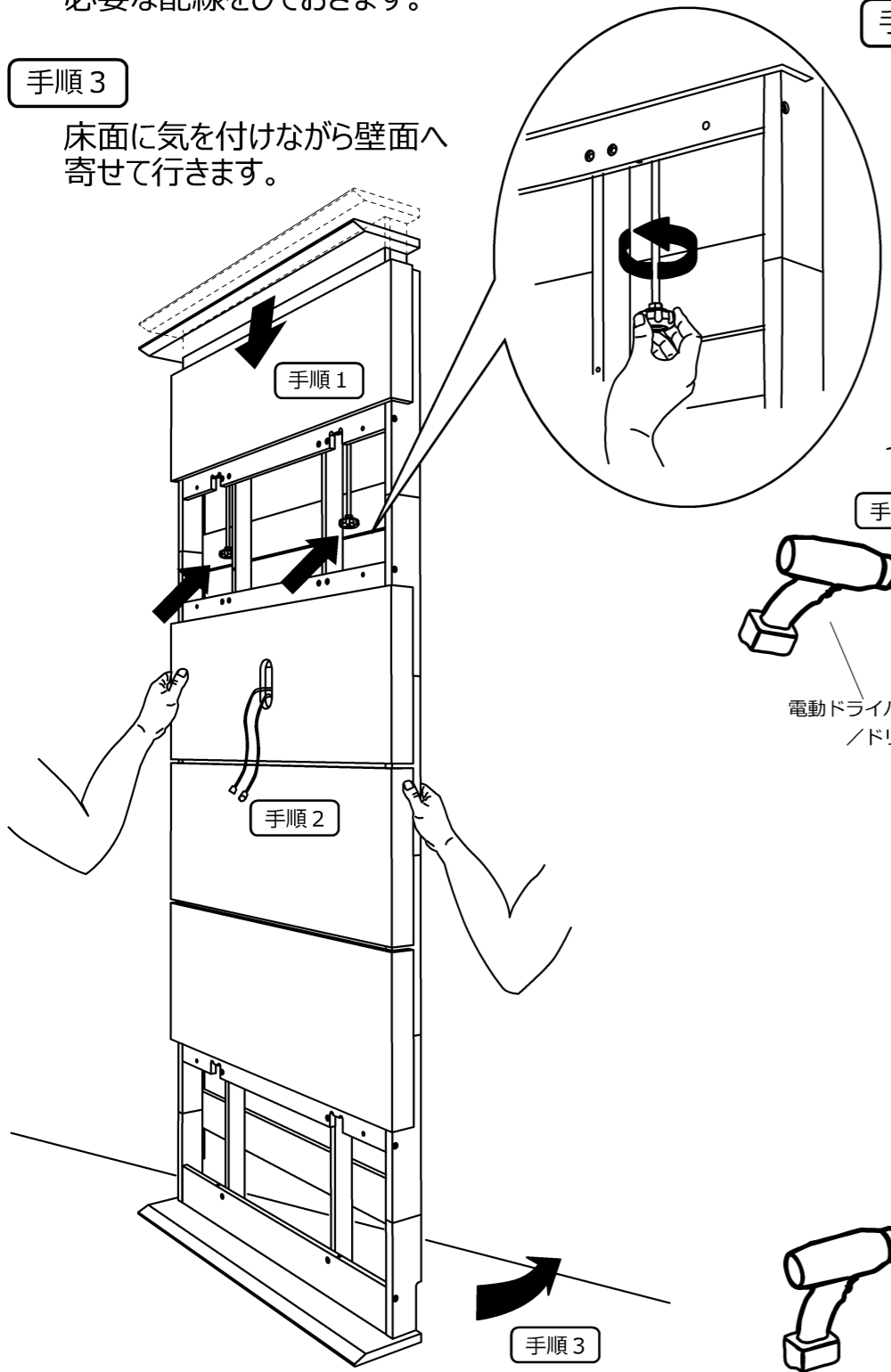
矢印のつまみを回して、天井へ仮固定を2～3cm緩めます。その時、倒れないようにしっかりと支えてください。

手順2

必要な配線をしておきます。

手順3

床面に気を付けながら壁面へ寄せて行きます。

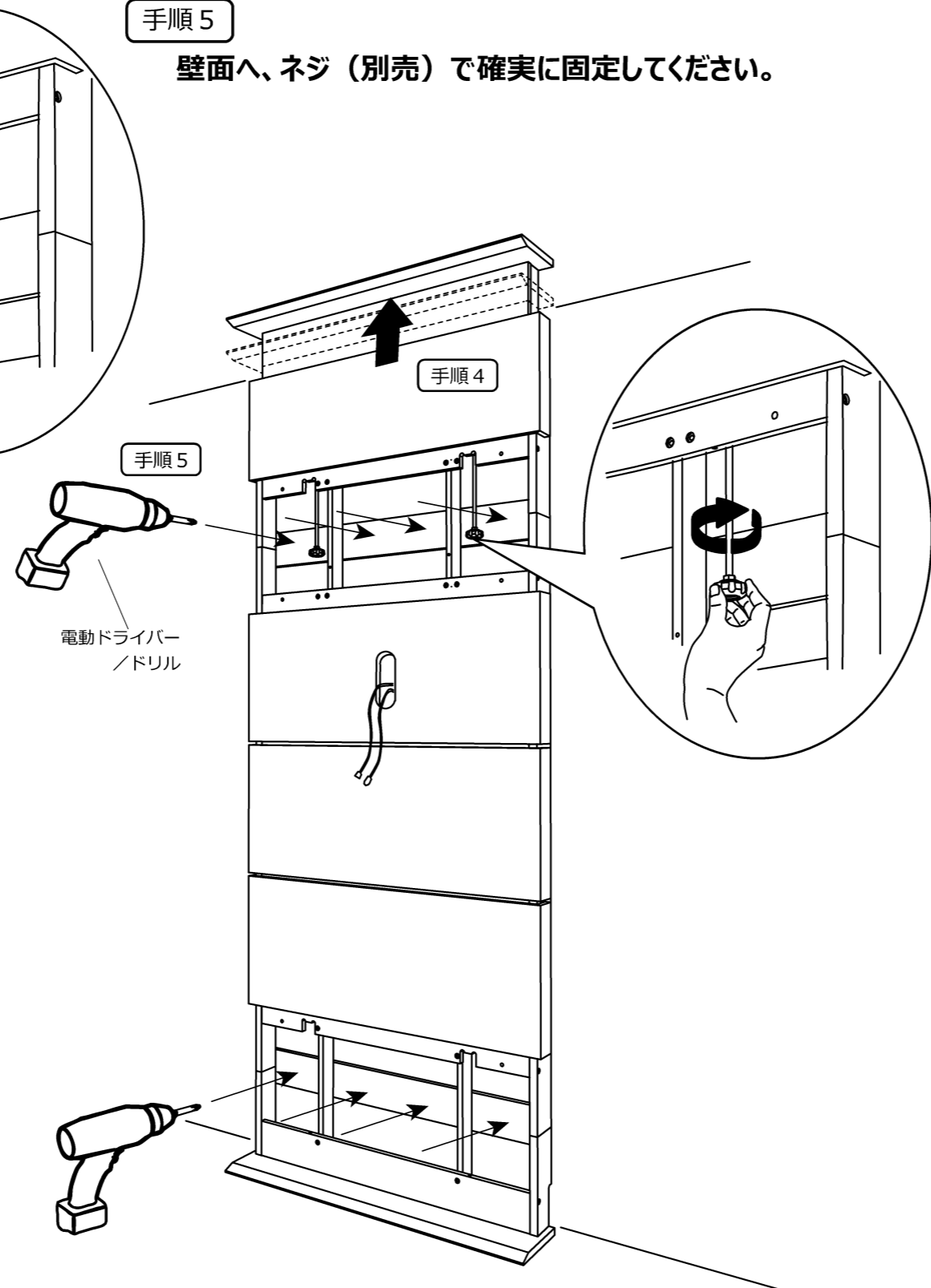


手順4

矢印のつまみを回して、天井まで伸張させます。その時、突っ張り過ぎると、天井が変形し破損する恐れがありますので、十分注意してください。突っ張るだけでは、本体は固定することは出来ませんので、必ず壁面へのネジでの固定をしてください。

手順5

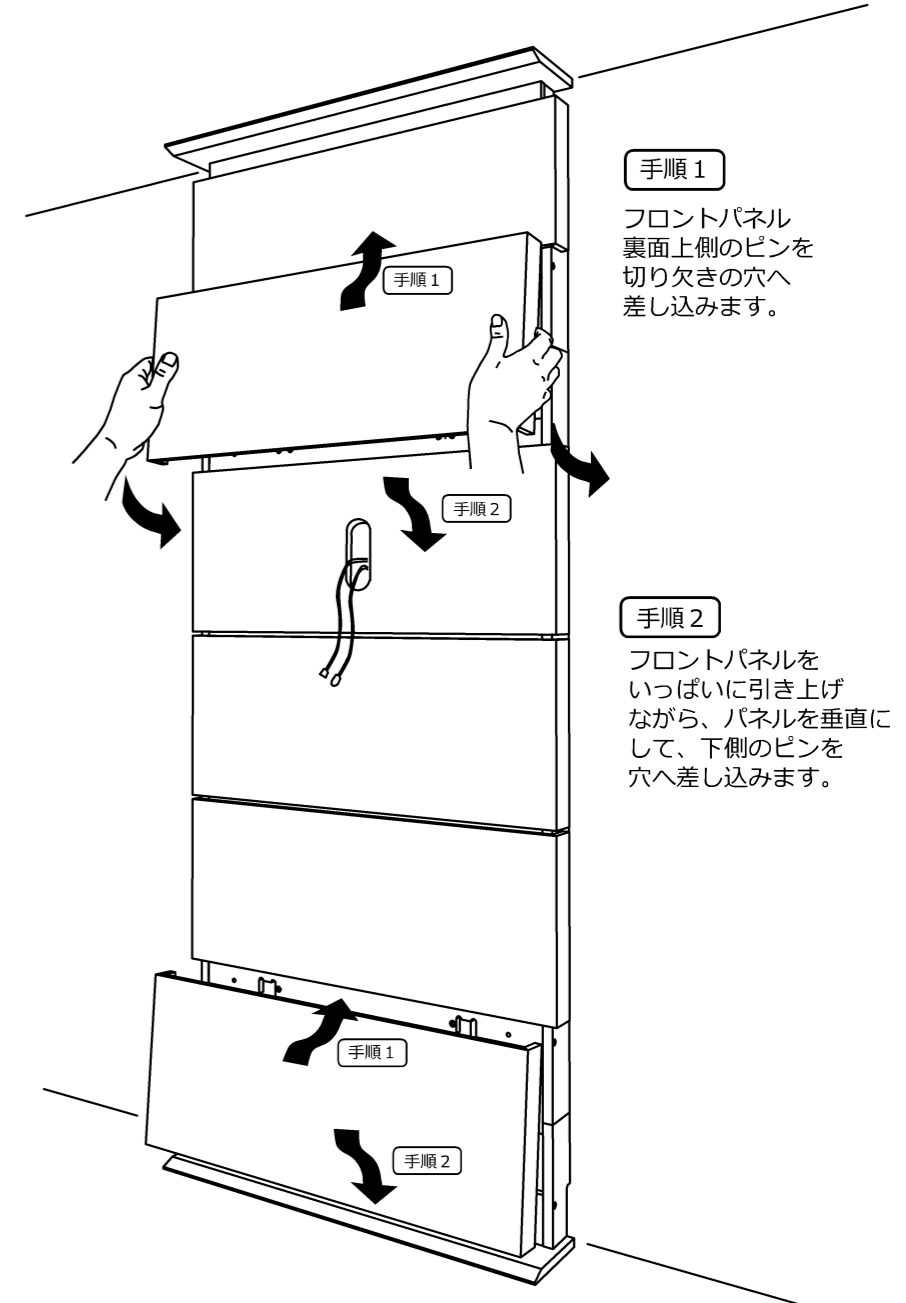
壁面へ、ネジ（別売）で確実に固定してください。



14 フロントパネルの固定

残りのフロントパネルを取り付けます。

(手順詳細は、工程「11」をご確認ください。)



手順1

フロントパネル裏面上側のピンを切り欠きの穴へ差し込みます。

手順2

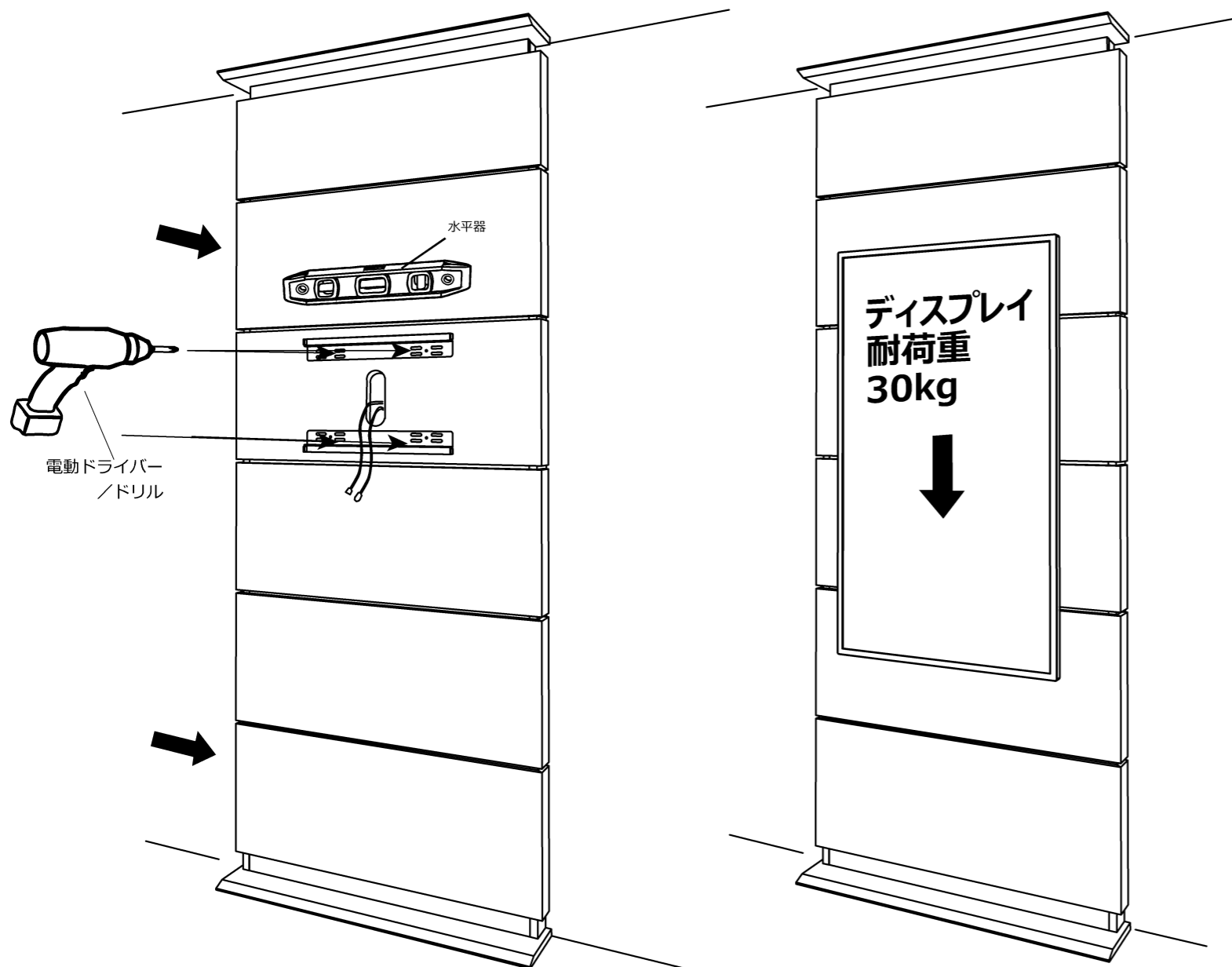
フロントパネルをいっぱい引き上げながら、パネルを垂直にして、下側のピンを穴へ差し込みます。

裏面に続く

15 ディスプレイの設置

矢印の箇所のフロントパネルには
ディスプレイ取付金具（別売）は
取り付けないでください。

ディスプレイ取付金具（別売）の
取り付け方法に従って取り付け
てください。



使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置し
お使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読み
になり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定
される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

■ ディスプレイやスタンドにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかたりしないでください
スタンドが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。

■ 振動のある場所に置かないでください
振動でディスプレイが落下したり、スタンドが転倒するなどして、けがの原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください
スタンドが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。

■ 部品を改造しないでください
スタンドの強度が保たれなくなりディスプレイが落下したり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

注意

■ 空調設備の吹き出し口、吸い込み口のそばに
設置しないでください。
火災の原因となることがあります。

■ 手や指はさみにご注意ください
可動部に手や指をはさみこまないようにしてください。けがをする
恐れがあります。同様にテレビを設置する時もご注意ください。

■ 高温・多湿の場所に置かないでください
直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの
原因となります。

■ 記載されている耐荷重以上は載せないでください。
商品が破損したり、スタンドが転倒してけがをする恐れがあります。

■ 移動・設置において
● 移動させるときは取付けしている機器を持って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります
● 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタツキがないか確認をしてください。
ガタツキがあると変形・転倒をする原因となります。

■ 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください。
変形してディスプレイが倒れたり、機器が落ちたりして
けがをする恐れがあります。

■ 屋外など、水のかかるおそれのある場所には
設置しないでください
さびや故障・変形の原因となります。

■ ワックスが塗布されている場所に設置される場合は、
キャスターの劣化に御注意ください。
ワックスの成分によっては、キャスターの劣化を促進する恐れがあります。

■ 転倒防止の処置を行ってください
転倒防止の処置を行わないと、スタンドが転倒しけがの原因と
なることがあります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。